

平成24年度当初予算(過去最高額)

一般会計・特別会計等総額430億7,922万円

こども医療費15歳まで無料化

平成24年7月1日スタート(条例改正可決)

平成24年3月定例会は、3月1日開会し条例案・単行議案・予算案・追加議案等61議案全てを、原案どおり可決・同意しました。

一つ一つの議案を振り返りますと、各常任委員会において何件もの議案が長時間の審査を経て可決されるという、3月定例会独特の重みを漂わせた定例会となりました。

24年度の一般会計当初予算は263億1000万円となり、最大規模となった昨年よりも2・8パーセント上回る大型予算となりました。さらに、23年度から24年度へ繰り越される事業費を加えた実質的な予算規模は307億5000万円が見込まれ、対前年度比で12・1パーセント増の大幅な伸び率となりました。

平成24年度予算における重点推進事項は次のとおりです。**1、東日本大震災からの復旧・復興及び放射能対策について**

大震災で被害を受けた市営住宅・道路・下水道・農業集落排水などの社会基盤や、本市のシンボルである国指定史跡「小峰城」を初めとする歴史的資源の早期復旧を推進す

るとともに、プレミアム付き「白河市地域振興共通商品券」への助成や「イメージアップ観光誘客事業」などにより復興に向けた取り組みを強化します。

また、放射能汚染物質の「仮置き場」の確保や、「住宅ホットスポット除染」、「農用地等除染」、「自家用野菜や学校給食食材の検査」などの放射能対策を実施します。

2、子育て・働く女性・お年寄りへの支援について

安心して子どもを産み育てることのできる環境を整えるため、「医療費無料化」を中学3年生までに拡大するとともに、天候や放射線による影響等を気にせず安心して遊べる「屋内遊具施設整備」、「ファミリーサポートセンター設備」、「女性のキャリア形成」など、子育て・働く女性への支援を拡充します。

また、「高齢者サロンあつたかセンター」の設置・運営、一人暮らし高齢者の見守りと生活支援のための「あつたか訪問収集」の実施など、お年寄りを支援する事業を実施します。

3、健康で安心して暮らせる保健・医療・福祉サービスの推進について

健康で安心して暮らせるよう、新たに若い世代を対象に「血糖値やヘモグロビンA1c

(エー・ワン・シー)検査」を実施して「糖尿病ゼロ作戦」運動を強化するほか、「前立腺がん検診」を個別検診項目へ追加するなど、検診機会の拡充により早期発見・治療に結びつけるとともに、「保健だより」による情報提供の充実、

国民健康保険被保険者証の「個人カード化」による利便性の向上を図るなど、保健・医療・福祉サービスを総合的に推進します。

4、産業の振興・中心市街地活性化の推進について

原発事故により、エネルギーのあり方について見直す機運の高まりを踏まえ、「再生可能エネルギー」導入の可能性や発電施設の立地、関連産業の集積について調査・研究を行うとともに、「白河市産業プラザ」における人材育成や企業支援、「しらかわ型農地利用集積推進事業」や「新規就農総合支援事業」による

持続可能で力強い農業の構築、「観光物産PR事業」や「しらかわ食と職の祭典」などによる観光の振興など、産業の振興に取り組みます。

また、「中心市街地共同住宅供給事業」や、「山車会館整備事業」、「中心市街地空き店舗対策事業」などによる町なかのにぎわい創出など、中心市街地の活性化を推進します。

5、教育・障害学習環境の充実について

地域の宝である大切な人材を育成するため、「ガンバルしらかわ人奨学資金支給事業」、「学力向上推進事業」や「白河の歴史再発見!事業」を初め、「白河第二小学校・釜子小学校・白河中央中学校・表郷幼稚園」の建設事業など、教育環境の整備を図るとともに、「市民文化会館建設事業」、「表郷公民館建設事業」の推進や、「しらかわ音楽の祭典」、市立図書館の「図書・視聴覚資料等整備」、「陸上競技場第3種公認検定事業」などにより、ソフト・ハードの両面から教育・生涯学習環境の充実を図ります。

6、市民生活の安全の確保と地域コミュニティの強化について

大震災を教訓とした災害に強いまちづくりを推進するため、「地域防災計画」を見直すとともに、「総合防災訓練」を実施するほか、消防力を強化するため、引き続き「消防屯所」や「消防車両」の整備事業を実施し、市民生活の安全確保を図ります。

また、将来のまちづくりの指針となる新たな「白河市総合計画」や、「自治基本条例」の策定に向けた取り組みをさらに進め、市民協働のまちづくりを推進するとともに、地域活動の拠点となる「集会所整備事業」、「農業用施設整備『結』支援事業」などにより、地域コミュニティの強化を図ります。

7、社会基盤の充実について

道路網の整備については、市道・都市計画道路などの幹線道路整備の進捗を図るとともに、「安全・安心身近な施設整備（道路維持管理）事業」により、生活用道路の利便性向上を図ります。

また、歴史まちづくり事業

として、「小峰城道場門遺構」、「丹羽長重廟周辺」などの整備を進めるとともに、明治天皇や新撰組ゆかりの歴史的遺産である「旧脇本陣柳屋旅館建造物群」の保存・管理活用方法などの検討を行います。さらに、「循環バス」などの公共交通の拡充、「上・下水道」などライフラインの整備、「公営住宅ストック総合改善（市営住宅改修）事業」などにより社会基盤の充実を推進します。

平成24年度一般会計 当初予算の主な事業

可決しました主な事業の内容を、●事業名・【担当課名】・予算規模・事業内容の順に紹介します。

●子ども手当で支給事業

【子ども課】

12億1073万6000円。

子育ての経済的支援事業として、0歳から中学校修了前の子供の養育者に手当を支給します。支給額は、0～3歳未満1万5000円。3歳以上小学校修了前1万円。（第3子以降1万5000円）中学生1万円。

●白河市総合計画策定事業
【企画政策課】
407万3000円。

大震災や原発事故の影響を初め、社会経済のあらゆる分野において本市を取り巻く情勢が大きく変化したことから、「第二次総合計画」を策定します。

●地方バス路線維持対策事業
【地域支援課】

4047万7000円。

日常生活に不可欠な路線バスの運行を維持するため、バス事業者に対し補助金を交付します。

●白河市国際交流協会補助金
【秘書広報課】

755万2000円。

市民の国際化・国際理解などを推進するため、姉妹都市提携20周年記念市民交流や、中学生海外派遣事業。また、

第3回目日仏自治体交流会議などの経費に対する補助金。

●旗宿行政センター建設事業
【市民課】

13221万7000円。

地域の行政機能を維持するため、老朽化した旗宿行政センターを改築します。

●集会所整備事業

【地域支援課】
1億6761万8000円。
老朽化した集会所の改築等を実施します。改築×8棟・改修等×10棟。

●証明書コンビニ交付事業
【市民課】

691万3000円。

市民の利便性向上を図るため、住民票等を平成24年7月から、市内17店舗を含む全国のセブンイレブンで交付を開始します。

●屋内遊具施設設置事業
【子ども課】

2011万4000円。

マイタウン白河2階に、放射線の影響や天気等を気にせず年間を通して乳幼児が遊べる屋内遊具施設を整備します。

●母子健康診査事業
【健康増進課】

5710万3000円。

①乳幼児健康診査事業、②妊婦健康診査事業、③妊婦健康診査費用助成事業。

●小児平日夜間救急医療事業
【健康増進課】

245万円。

白河厚生総合病院において、平日夜間における小児初期救急医療の確保を図ります。

●仮置き場設置事業
【放射線対策室】
9099万8000円。
除染計画に基づく除染作業により発生する土壌等の仮置き場を旧市村ごと（4ヶ所）に設置します。

●農地等除染対策事業
【農政課】

1億3410万円

平成24年産米からの放射性物質検出や風評被害を防止するため、農地等の除染対策を講じます。水田・反転耕起など。樹園地・樹皮削りや高圧洗浄。畑地・牧草地は反転耕起。



カリウム肥料散布
(関辺地内)



反転耕起
(大信十日市地内)